

事業所名：大垣市立ひまわり学園

支援プログラム

作成日 令和7年1月27日

法人(事業所)理念		児童福祉法の規定により、発達上のさまざまな弱さや問題をもつ児童に対して、保護者の方の相談に応じながら、それぞれの児童の発達支援や家族に対する子育て支援を行います。就学前の幼児に対して親子通園により、個々のニーズに応じたきめ細かな療育を行います。		
支援方針		一人ひとりの実態に合った個別支援計画の作成と発達支援を目指し、様々な療育形態をとりつつ親子共に育っていくことを願って、療育に力を入れていきます。		
営業時間		9時00分～16時00分	送迎実施の有無	あり なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	○基本的な生活習慣の獲得や身辺自立のスキルを獲得できるよう支援をする。(着脱、トイレトレーニング、手洗い、食具の扱い方、整理整頓など)		
	運動・感覚	○個々の子どもの発達段階や特性に応じて、運動能力や感覚処理の課題を改善する(サーキット遊びやリズム遊び、ボール遊び、吊り遊具など) ○感覚過敏・鈍麻のある子にも合わせた過ごしやすい環境調整。		
	認知・行動	○視覚・聴覚・触覚などの感覚を使い認知機能の発達を高める。 ○粘土やスライム、ブロック遊び、パズルなどによる、空間把握、運動企画などの認知機能の向上。 ○具体的な言葉や視覚支援、実体験や絵カード等を利用して物の名称や色、形などの概念形成を促す。 ○集団療育によって、自分の行動や感情をコントロールする方法、困った時の代替行動などを身に付ける。		
	言語・コミュニケーション	○要求・模倣・注目・追視など、円滑なコミュニケーションスキルの獲得を促す。 ○視覚支援や絵カードの使用や、簡単な言葉で指示を出すなどの工夫をすることで、コミュニケーション手段として汎化できるよう支援する。 ○年齢や状態に応じて言語聴覚士による構音指導を行う。		
	人間関係・社会性	○順番や手順、役割、ルールの理解、感情のコントロールなど集団活動に参加するためのスキルを獲得し、遊びや活動に参加できるよう支援する。 ○親子療育による親子(身近な人)の愛着行動形成や信頼関係の構築。		
家族支援		個別懇談(年2回)・就園・就学に向けての学習会・子育て公開講座・保護者向け講演会など	移行支援	保育園等への就園または、小学校の就学において、支援の引継ぎや情報提供を行なう
地域支援・地域連携		園訪問で保育士と情報交流を行ない、利用者の状態を共通理解する。	職員の質の向上	研修会、研究会への参加:「岐阜県障害幼児研究会」「指導方法研究会」「子ども支援部会」「保育園実習」「希望が丘医療福祉センター主催の研修」「西濃圏域療育スタッフ研究会」「他の児童発達や医療機関への見学」「地域支援研究会」「園内研究(ビデオカンファレンス)、実践発表」など
主な行事		園外療育、健康診断と発達相談(年4回)、避難訓練(毎月)、家族参観日、移動動物園、ひまわり開放日、相談日(平日、土曜日)、親子療育週間、乗り物体験(電車・バス)、買い物学習、調理体験		